

新設！大学・地域共創プラットフォーム香川

Platform KAGAWA

オール香川の産官学で取り組む人づくり・地域づくり

香川県の人口は2023年現在約92万人。30年前に比べて約10万人減少しています。また、香川県内の高校生が県内の大学に進学する割合は20%以下(22年現在)、県内の大学生の県内就職率は約40%(20年現在)。つまり、香川県の若者がどんどん少なくなる一方で、県内で育った人材の多くが県外に流出しているのです。

しかし、地域を支えるのは「人」の力。プラットフォーム香川は、地域社会・経済を支える人材を育成し、彼らが地域で活躍できる場を創出するためにつくられた産官学の共同体です。香川大を事務局とし、議論と実践を繰り返しながら地域社会の発展を目指します。

プラットフォーム香川は、今まで経済団体・自治体・大学がそれぞれ独自に行っていた



取組を集約し、互いの強みを活かして、多角的な見地から議論を深めつつ課題解決に取り組む、まったく新しい共創の場です。特に、県内大学等地域全体にダイレクトにアプローチできる環境がユニークなところ。事務局を務める香川大は、産官学連携や学生たちの主体的な地域貢献活動が活発な風土を生かしつつ、地域に「人のかかわりをつくる・広げる」のが主な役割です。

設立1年目で各部会の取組はまだまだこれからです



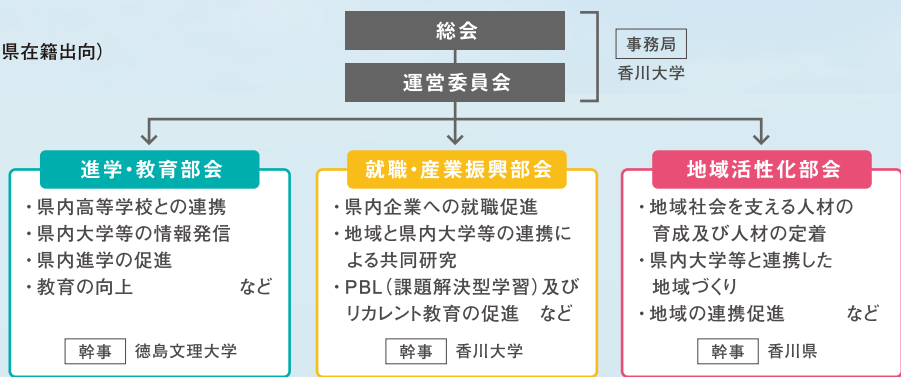
「大学・地域共創プラットフォーム香川」令和4年度第2回総会

が、23年度は22年度に実施した大学生や自治体職員、企業経営者などによる「若者が定着する香川を目指して」をテーマとするアイデアソンで提案された「大学生主体の観光情報の発信」の企画を実施します。参加する学生にとっては、自治体や企業といった学外と交流するチャンスであり、立場の違う人たちが話し合っ経験を共有しながらひとつの企画を練り上げていく貴重な体験の場となると思います。

今後は広報活動にも力を入れて「若者が活躍できる香川」に向けたチャレンジを広くPRし、活気ある香川の実現を目指していきます。

大学・地域共創プラットフォーム香川の構成

大学・地域共創プラットフォーム香川 事務局
香川大学地域創生推進部 地域連携推進課 (香川県在籍出向)
児玉 隆 (こだま たかし)



県内高校等との連携・県内大学等の情報発信・教育向上など、大学が主体となって県内進学促進を目指す。

- ・県内大学・短期大学・高等専門学校の情報を網羅した「キャンパスガイド(香川進学BOOK)」を制作
- ・高校生を対象に、大学などの職員が専門分野を生かす出前講座などを実施

県内就職を促進するとともに、地域企業と県内大学等が連携する共同研究やリカレント教育の推進に取り組む。

- ・「業種別オンライン県内企業見学ツアー」「かがわーくフェア」「キャリア支援研修会」などを企画・実施して県内企業の情報を発信
- ・企業担当者とはアバターで気軽に交流できる場として、メタバースを利用した「オンライン県内企業見学ツアー」を23年8月に実施予定

地域を支える人材育成とその定着、大学と連携した地域づくりなどに取り組む。

- ・「若者の定着する香川を目指して」をテーマにアイデアソン(対話を通じてアイデアを出し合うイベント)を実施。提案されたアイデアを23年度に実践していく予定
- ・就職活動中の県内大学生に、就活や県内就職に関するアンケート調査を実施